

No.	取組名称	担当課等	取組概要	各年度の活動指標										担当部署評価(一次評価)				協働のまちづくり推進本部評価(二次評価)	
														実績評価		加点評価	総合評価	課題や改善点	今後の方向性
				指標名	区分	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	R13	A: 目標値を完全又は概ね達成(80%以上) B: 目標値を一部達成(80%未満) C: 未実施(0%)	活動指標にあるもの以外で、取組概要にある目的の達成に繋がる取組を行った場合は、その内容を記入してください。	加点評価がある場合は、実績評価に「+」を付けてください。 加点評価がない場合は、実績評価をそのまま転記してください。	取組に対する課題や改善点がある場合は記入してください。	1: 取組概要に沿って取組を進めることが妥当 2: 取組概要の見直しや、活動指標の見直しが必要 3: 取組の廃止や休止を含む検討が必要 4: 取組の終了	今後、担当部署において改善や検討をしてもらいたい点等。
基本理念1 市民の地域コミュニティへの参加を促進します																			
(1)情報共有の促進																			
①市政に関する情報提供																			
1	広報紙・ホームページの充実	秘書広報課	市からの情報発信をより効果的に行うため、広報紙やホームページ・SNS等の更なる充実に向けて、継続的に取組を実施します。	発信媒体の庁内周知(回)	目標値	2	2	2	2	2	2	2	2	A		A		1	
					実績値	2													
2	市長と一緒にティータイムの開催	秘書広報課	市政やまちづくりに関して、市民の意見を広く聴き市政に反映させるため、各種団体や市民グループと市長が意見交換を行い、市民参加のまちづくりを推進します。	制度の周知回数(回)	目標値	10	10	10	10	10	10	10	10	A	市内全中学校にて、生徒と給食をともにしながら若い世代の声を聴いた。	A+	市民の意見を広く聴くため、意見交換会等の広聴活動について周知方法を検討し、積極的な周知を行う必要がある。	1	SNS等を活用した多様な方法による周知に努めること。
					実績値	8													
				開催回数(回)	目標値	7	7	7	7	7	7	7	7						
					実績値	7													
3	シティプロモーション特設サイト「そでがうらアンバサダー」の運営	秘書広報課	シティプロモーション特設サイトにて、「暮らし」「はたらく」「子育て・教育」の分野において、市内で活躍する「そでがうらアンバサダー」が袖ヶ浦の魅力を語るインタビュー記事を掲載し、定住促進や交流人口の増加を図ります。また、市民が直接情報発信に関わることでわがまちへの愛情や誇り(シビックプライド)の醸成につなげます。	そでがうらアンバサダーの周知(回)	目標値	2	2	2	2	2	2	2	2	A		A		1	
					実績値	2													
4	事業者との協働による市政情報等の提供	秘書広報課	市と事業者の協働により、民間資金等を活用して市政情報や地域情報に関するガイドブック・マップ等を発行することで、市民生活に役立つ情報などを提供します。	年度により発行数に変動があるため、指標は設定しない【実績値は当該年度に広告審査を行ったもののうちガイドブック等を発行したもの】	目標値	-	-	-	-	-	-	-	-	A		A		1	
					実績値	6													
②地域コミュニティ活動の情報収集と提供																			
5	協働のまちづくりの事例収集と提供	市民協働推進課	市民の地域コミュニティへの参加や、地域コミュニティが連携するきっかけづくりとするため、市内における地域コミュニティの活動事例を収集し、市ホームページへの掲載など事例を紹介する機会を設けます。	活動事例の情報提供(回)	目標値	2	2	2	2	2	2	2	2	A		A		1	
					実績値	2													

No.	取組名称	担当課等	取組概要	各年度の活動指標										担当部署評価(一次評価)				協働のまちづくり推進本部評価(二次評価)	
														実績評価		加点評価	総合評価	課題や改善点	今後の方向性
				指標名	区分	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	R13	A:目標値を完全又は概ね達成(80%以上) B:目標値を一部達成(80%未満) C:未実施(0%)	活動指標にあるもの以外で、取組概要にある目的の達成に繋がる取組を行った場合は、その内容を記入してください。	加点評価がある場合は、実績評価に「+」を付けてください。 加点評価がない場合は、実績評価をそのまま転記してください。	取組に対する課題や改善点がある場合は記入してください。	1:取組概要に沿って取組を進めることが妥当 2:取組概要の見直しや、活動指標の見直しが必要 3:取組の廃止や休止を含む検討が必要 4:取組の終了	今後、担当部署において改善や検討をしてもらいたい点等。
③地域コミュニティの情報発信への支援																			
6	市民活動情報サイトの運用	市民協働推進課	市民活動情報サイト(ガウラ・ナビ)にて、地域コミュニティの活動や募集情報等の発信を支援し、市民団体の活動周知を図ります。	市民活動情報サイトへの登録団体数(団体)	目標値	64	66	68	70	72	74	76	78	A		A	袖ヶ浦市市民活動サポートセンター「そでのわ」の開設に伴い、今後は「そでのわ」のホームページでも団体の情報発信を行う予定である。そのため、将来的には市民活動情報サイトを廃止し、「そでのわ」のホームページに情報発信を一本化することを検討する必要がある。	2	そでのわへの登録団体や相談のあった市民の課題解決やまちづくりに寄与する市民活動団体等を支援し、団体数の増加に努めること。
市民活動情報サイトへの登録団体数(団体)	実績値	59																	
市民活動情報サイトへの周知(回)	目標値	3	3	3	3	3	3	3	3	3									
市民活動情報サイトへの周知(回)	実績値	3																	
(2)市政への市民参画の促進																			
①多様な参画機会の提供																			
7	多様な参画機会の提供	市民協働推進課	市の施策や事業を実施するにあたり、説明会や意見交換会、ワークショップ、アンケート調査等の多様な参画の機会を市民等へ提供することで、市政への参画と理解の促進を図ります。	各課等への周知回数(回)	目標値	1	1	1	1	1	1	1	1	A		A		1	
各課等への周知回数(回)	実績値	1																	
②計画等策定への参画																			
8	パブリックコメント手続の活用	企画政策課	市民参画の機会を確保し、公平性の確保と透明性の向上を図り、市民協働による開かれた市政を推進するため、まちづくりに関する基本的な構想や計画等の策定にあたり、パブリックコメント手続を適正に実施します。	市民への周知の回数(回)	目標値	1	1	1	1	1	1	1	1	A		A		1	
市民への周知の回数(回)	実績値	2																	
各課等への周知の回数(回)	目標値	1	1	1	1	1	1	1	1	1									
各課等への周知の回数(回)	実績値	1																	
9	審議会等への市民公募委員の促進	職員課	市の施策等に市民の意見を適切に反映させるため、審議会等への市民公募委員の参加を促進します。	庁内周知の実施(回)	目標値	1	1	1	1	1	1	1	1	A		A		1	
庁内周知の実施(回)	実績値	1																	
10	審議会等への地域コミュニティの参加促進	市民協働推進課	市の施策等に地域の課題や情報等を適切に反映させるため、自治会など地縁団体の審議会等への参加を促進します。また、市民活動団体や事業者の参加により、その専門的な知識や経験の積極的な活用を図ります。	各課等への周知回数(回)	目標値	1	1	1	1	1	1	1	1	A		A	現在、自治会長等の負担が大きいが、ひいては自治会脱退や自治会解散に影響しているため、自治会長等の負担を軽減しつつ市政へ自治会等の地域課題に関する声をどのように反映させていくか検討を要す。	1	自治会長等の負担を軽減させつつ市政への意見の反映を行えるよう仕組みづくりを検討すること。
各課等への周知回数(回)	実績値	1																	

No.	取組名称	担当課等	取組概要	各年度の活動指標										担当部署評価(一次評価)				協働のまちづくり推進本部評価(二次評価)	
														実績評価		加点評価	総合評価	課題や改善点	今後の方向性
				A: 目標値を完全又は概ね達成(80%以上) B: 目標値を一部達成(80%未満) C: 未実施(0%)		活動指標にあるもの以外で、取組概要にある目的の達成に繋がる取組を行った場合は、その内容を記入してください。	加点評価がある場合は、実績評価に「+」を付けてください。 加点評価がない場合は、実績評価をそのまま転記してください。	取組に対する課題や改善点がある場合は記入してください。	1: 取組概要に沿って取組を進めることが妥当 2: 取組概要の見直しや、活動指標の見直しが必要 3: 取組の廃止や休止を含む検討が必要 4: 取組の終了										
指標名	区分	R6	R7	R8	R9						R10	R11	R12	R13					
(3)地域コミュニティの担い手づくり																			
①市民が参加しやすい環境づくり																			
11	市民総合賠償補償保険制度の運用	総務課	地域活動に安心して参加できるようにするため、社会奉仕活動中の事故により負傷等した場合に、総合災害補償要綱により見舞金を支給します。	市民総合賠償補償保険制度の周知回数(回)	目標値	2	2	2	2	2	2	2	2	A		A		1	
					実績値	2													
12	ファミリーサポートセンター事業の運用	子育て支援課	安心してゆとりある子育てができる環境づくりを目指して、「子育ての援助を受けたい方」(利用会員)と「子育ての援助を行いたい方」(提供会員)がファミリーサポートセンターの会員になり、地域で助け合う有償の相互援助活動を行います。	利用会員数(人)	目標値	220	222	224	226	228	230	232	234	A		A	提供会員についてはHP・広報・自治会回覧などで周知は行っているが登録人数は増えない状況である。	1	提供会員となることのメリットを周知することや、ターゲット層を定めた周知活動等を行うことにより、登録人数の確保に努めること。
					実績値	223													
				提供会員数(人)	目標値	47	48	49	50	51	52	53	54						
					実績値	40													
13	介護支援ボランティア事業(介護支援しあわせポイント)の運用	高齢者支援課	高齢者の社会参加を通じた介護予防を推進するため、市内在住の65歳以上の方が介護支援ボランティアとして市に登録し、市の指定を受けた事業所でボランティア活動を行うことで、寄付や商品券への交換ができるポイントを付与します。	ボランティア登録人数(人)	目標値	36	38	40	42	44	46	48	50	A		A		1	
					実績値	37													
				事業の周知回数(回)	目標値	3	3	3	3	3	3	3	3						
					実績値	3													
14	学校支援ボランティアの活用	学校教育課	実践的教育のため地域に開かれた学校を目指し、地域の人材や民間の力を活用した学校支援ボランティアを充実させます。また、地域ぐるみで学校を支援する体制を構築することで、学校の教育力の向上と教育内容の充実を図ります。	市内小中学校の学校支援ボランティア登録者数(人)	目標値	790	790	790	790	790	790	790	790	A		A	登録者の高齢化により、新たな担い手を確保していく必要がある。	1	ボランティアの内容ごとに対象を絞るなど工夫して新たな担い手の確保に努められたい。
					実績値	704													
15	総合型地域スポーツクラブの活性化	スポーツ振興課	地域スポーツを促進し、市民が参加しやすいスポーツの機会を拡充するため、総合型地域スポーツクラブ連絡協議会が中心となり各種スポーツ大会等を開催します。また、市内各総合型地域スポーツクラブがPR活動等を積極的に行うことで、市内5クラブの入会者数の増加を図ります。	市民へのPR回数(回)	目標値	5	5	5	5	5	5	5	5	A	市内5クラブにおいて、加入促進のための無料体験会を実施した。	A+		1	
					実績値	9													
				スポーツイベント実施回数(回)	目標値	3	3	3	3	3	3	3	3						
					実績値	3													

No.	取組名称	担当課等	取組概要	各年度の活動指標										担当部署評価(一次評価)				協働のまちづくり推進本部評価(二次評価)	
														実績評価	加点評価	総合評価	課題や改善点	今後の方向性	付帯意見
				指標名	区分	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	R13	A:目標値を完全又は概ね達成(80%以上) B:目標値を一部達成(80%未満) C:未実施(0%)	活動指標にあるもの以外で、取組概要にある目的の達成に繋がる取組を行った場合は、その内容を記入してください。	加点評価がある場合は、実績評価に「+」を付けてください。 加点評価がない場合は、実績評価をそのまま転記してください。	取組に対する課題や改善点がある場合は記入してください。	1:取組概要に沿って取組を進めることが妥当 2:取組概要の見直しや、活動指標の見直しが必要 3:取組の廃止や休止を含む検討が必要 4:取組の終了	今後、担当部署において改善や検討をしてもらいたい点等。
16	消防団協力事業所表示制度の運用	消防本部総務課	消防団員の確保のため、消防団に積極的に協力している事業所に対して表示証を交付するとともに、地域における社会貢献を評価する消防団協力事業所表示制度の周知を図ります。	協力事業所数(社)	目標値	45	46	47	48	49	50	51	52	A		A	令和6年度中に事業所の市外転出の理由による1社取消、新規登録はなかった。 協力事業所の登録依頼については、ホームページ、工場連絡会での周知を行っているが、近年新規登録がない。 登録した際のメリット等についてさらに周知を行い新規登録につなげていく。	1	商工会や工場連絡会と協力するなど、今後も協力事業所の新規登録のため、事業所等への周知に努められたい。
17	市職員の協働研修の実施	職員課	研修を通じて協働に関する理解を深めるため、必要な知識や技能を習得させることで、地域コミュニティとの協働による事業に積極的に取り組むことのできる市職員の育成を図ります。	研修実施回数(回)	目標値	1	1	1	1	1	1	1	1	A		A		1	
②地域活動に参加する意識づくり																			
18	各種講座等の連携促進	市民協働推進課	地域活動の担い手等の育成を効率的・効果的に進めるため、各担当部署における講座等の実施計画を取りまとめ共有することで、講座間の連携を図ります。	各種講座等の実施状況調査及び情報共有(回)	目標値	1	1	1	1	1	1	1	1	A		A		1	
19	【新規】地域まちづくり協議会等の取組への参加促進	市民協働推進課、交流センター	地域活動の活性化や担い手等の育成を図るため、地域まちづくり協議会等の地域で活動する団体の活動を周知し、地域活動への参加を促します。	地域まちづくり協議会の活動周知(回)	目標値	4	4	8	8	12	16	20	20	A		A		1	
20	職員出前講座の実施	生涯学習課	市民への学習機会の提供や市政に関する理解を深めるため、市民団体・グループが希望する場所に市職員が出向いて講座を開き、生涯学習のまちづくりを推進します。	職員出前講座の開講数(回)	目標値	140	140	150	150	160	160	170	170	A		A	開講数の約83%、参加者数の約75%が消防署受付の講座(救急指導・救命講習)である。 各課で担当する本庁受付の講座の申し込み割合が少ない。 そのため、よりニーズを捉えたうえで、講座メニューの改善や見直しが必要である。	1	救急指導・救命講習の講座は維持しつつ、本庁受付の講座の魅力を高めるために、講座内容の見直しや、ターゲット層に合わせた広報に努めること。
				職員出前講座の参加者数(人)	目標値	3,000	3,000	4,000	4,000	5,000	5,000	6,000	6,000						
					実績値	4,138													
③地域コミュニティを担う人材の育成																			
21	まちづくり講座の開催	市民協働推進課	地域活動の牽引役となる人材を育成するため、会議のファシリテーション、企画・チラシの作り方等実践的なスキルを習得する講座を開催します。	講座の開催回数(回)	目標値	7	5	5	5	5	5	5	5	B	講座内容のマンネリ化や受講者数の伸び悩みが課題であったことから、これまで実施していた地域のリーダー育成を目的とした全7回の連続講座を見直し、まずは地域の活動に興味を持ってもらうことを目的とした講座に変更した。 地域で活動している人の講話や参加者同士の交流を図る内容としたことで、受講者数が増加し、参加者から好意的な評価も得られた。	B+	従来行っていた全7回の連続講座では、内容のマンネリ化や受講者の伸び悩みが課題であったため、今後も適宜講座内容の見直しを行い、受講者の増加に努めていく。	2	講座内容を見直した結果、参加者数の増加とあわせて好意的な評価も得られていることから、今後も受講者を増やせるよう適宜講座内容を見直していくこと。
					実績値	3													

No.	取組名称	担当課等	取組概要	各年度の活動指標										担当部署評価(一次評価)				協働のまちづくり推進本部評価(二次評価)	
														実績評価	加点評価	総合評価	課題や改善点	今後の方向性	付帯意見
				指標名	区分	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	R13	A:目標値を完全又は概ね達成(80%以上) B:目標値を一部達成(80%未満) C:未実施(0%)	活動指標にあるもの以外で、取組概要にある目的の達成に繋がる取組を行った場合は、その内容を記入してください。	加点評価がある場合は、実績評価に「+」を付けてください。 加点評価がない場合は、実績評価をそのまま転記してください。	取組に対する課題や改善点がある場合は記入してください。	1:取組概要に沿って取組を進めることが妥当 2:取組概要の見直しや、活動指標の見直しが必要 3:取組の廃止や休止を含む検討が必要 4:取組の終了	今後、担当部署において改善や検討をしてもらいたい点等。
22	【新規登載】 地域人材育成講座の開催	交流センター・公民館	地域の課題を自分たちの課題として認識し、地域づくりの担い手となる人材を育成するため、地域課題に沿った講座を実施します。また、受講者による自主的な学習活動が展開できるよう支援します。	実施講座数(講座)	目標値	5	5	5	5	5	5	5	5	A		A		1	
					実績値	5													
23	災害対策コーディネーター養成講座の開催	防災安全課	「共助」の取組支援の一環として、平時は自主的に地域活動に参加して防災知識の普及や意識の向上に努め、災害時には自主防災組織、ボランティア等と連携・協力して、行政など関係機関との連絡調整等の役割を担う人材を養成します。	養成講座の開催(回)	目標値	1	1	1	1	1	1	1	1	A		A		1	
					実績値	1													
24	普通救命講習会(警防活動運営事業)の開催	中央消防署	市民等に対する正しい応急手当等の知識と技術の普及啓発活動を効果的に実施することで、一人でも多くの心停止傷病者が社会復帰に至るよう、市民等に対して最新の講習を行います。	普通救命講習受講者(名)	目標値	540	550	560	570	580	590	600	610	A		A		1	
					実績値	792													
25	はつらつシニアサポーターの養成・活動支援	高齢者支援課	地域における介護予防の取組を住民主体で継続する必要性を理解して側方支援を行ってもらうため、サポーター養成講座の開催や、自主的活動の促進としてスキルアップとなる研修を開催します。また、養成したサポーターの意向を確認し、新規開設団体の支援を行ってもらうなど活動に向けたマッチングを行います。	はつらつシニアサポーター養成講座受講者数(人)	目標値	15	15	15	15	15	15	15	15	A		A		1	
					実績値	23													
26	認知症サポーター養成講座の開催	高齢者支援課	認知症を理解し、認知症の人やその家族を温かく見守る応援者を増やし、安心して暮らせる体制を作るため、認知症サポーター養成講座を開催します。また、講座の講師であるキャラバン・メイトと連携して、市民や市内事業者を対象に認知症サポーターの養成を推進します。	認知症サポーター養成講座受講者数(人)	目標値	280	280	280	280	280	280	280	280	A		A		1	
					実績値	404													
27	認知症サポーターの自主的活動支援(ステップアップ講座)の開催	高齢者支援課	認知症サポーターが自分のできる範囲で認知症の人や家族の支援ができるよう、認知症に関して更なる知識を習得するためのステップアップ講座を開催します。また、認知症サポーターの新たな活躍の場について検討を行い、サポーターの自主的活動に向けた体制づくりを行います。	認知症サポーターステップアップ講座開催回数(回)	目標値	1	1	1	1	1	1	1	1	A		A		1	
					実績値	3													
28	図書館ボランティアの養成と活動推進	中央図書館	図書館の読書普及事業に市民がボランティアとして積極的に参加できる場を設け、市民との協働による図書館運営を目指し、事業の充実と利用の拡大を図ります。また、人材育成のために、既存ボランティアのスキルアップ講座等を行います。	ボランティア登録者数(延べ人数)(人)	目標値	70	70	70	70	70	70	70	70	A	おはなし会ボランティア養成講座初級編(全6回)を実施し、新たに17名が令和7年度から絵本の読み聞かせボランティアに登録を希望した。	A+	各ボランティアともに、自身や家庭の事情等により活動できなくなる方が一定数いるため、ボランティアの募集を今後も計画的に行う必要がある。	1	個々の事情による離脱があることを踏まえ、計画的な募集活動を通じて、安定的なボランティア体制の維持に努めること。
					実績値	85													
29	市民学芸員協働事業の実施	郷土博物館	個人がこれまでの人生で培った特技や個性、興味関心を持ち寄り、博物館活動を通して自己実現をしていく中で、更なる人間的成長と社会参加・世代間交流を促進するため、博物館のボランティアである市民学芸員を育成し、各種事業や企画・調査研究等を協働で実施します。	協働事業の実施回数(回)	目標値	5	5	5	5	5	5	5	5	A	年間11回の養成講座を実施し、新たに5名の登録者を得た。市民学芸員の調査研究成果を活用し、企画展Ⅰを協働で開催した。市民学芸員の活動が評価され、他市ボランティアとの交流会も実現した。	A+	登録者の高齢化による世代交代が進んでおり、初期に加入した者の離脱が著しくなってきた。グループ活動のみに参加し、博物館のイベントや体験学習など、市民学芸員全体で取り組む活動に参加しない者もあり、市民学芸員の組織としてのあり方を再考する必要がある。	1	若い世代の登録者を確保することとあわせて、組織のあり方を見直すことにより、組織全体の活性化を図ること。
					実績値	9													

No.	取組名称	担当課等	取組概要	各年度の活動指標										担当部署評価(一次評価)				協働のまちづくり推進本部評価(二次評価)		
														実績評価		加点評価	総合評価	課題や改善点	今後の方向性	付帯意見
				指標名	区分	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	R13	A:目標値を完全又は概ね達成(80%以上) B:目標値を一部達成(80%未満) C:未実施(0%)	活動指標にあるもの以外で、取組概要にある目的の達成に繋がる取組を行った場合は、その内容を記入してください。	加点評価がある場合は、実績評価に「+」を付けてください。 加点評価がない場合は、実績評価をそのまま転記してください。	取組に対する課題や改善点がある場合は記入してください。	1:取組概要に沿って取組を進めることが妥当 2:取組概要の見直しや、活動指標の見直しが必要 3:取組の廃止や休止を含む検討が必要 4:取組の終了	今後、担当部署において改善や検討をしてもらいたい点等。	
30	【新規登載】 山野貝塚ボランティアの活動推進	生涯学習課	市民との協働により、国史跡山野貝塚の維持管理や研究を進め、活用を促進する活動を行います。また、蓄積した地域資料と情報・人材を活用し、地域交流・世代間交流の拠点を目指すとともに、後世に伝える活動を推進します。	ボランティア研修会(回)	目標値	6	6	6	6	6	6	6	6	A	当課主催の行事以外に、根形公民館令和6年度第3回地域再発見講座や議会だよりに係る座談会等、他部署からの依頼による行事にも参加し、山野貝塚を周知することができた。	A+	現在、生涯学習課主導で活動を実施しているが、ボランティアの自立的な活動も行われるよう働きかけていく必要がある。	1	両者の役割分担を明確にするとともに、ボランティア活動を支援する役割に徹することで、ボランティアの自立的な活動を促すよう働きかけること。	
山野貝塚環境整備(回)	実績値	6																		
	目標値	8	8	8	8	8	8	8	8											
	実績値	7																		
31	【新規登載】 生涯学習ボランティアの活用推進	生涯学習課	地域の人材をボランティアとして養成し、社会教育機関等の主催事業での活用を図ることで、行政と市民の連携・協働による事業展開を推進します。 ※生涯学習ボランティア:ユースボランティア、保育ボランティア、アドバイザーバンク	生涯学習ボランティアの人数(人)	目標値	67	72	72	72	72	72	72	72	A	市公式LINEやInstagramにボランティア活動について周知を行ったり、近隣市の学校にチラシ・ポスターを配布するなど、SNSを活用した情報発信に取り組んだことで、若年層にアプローチできた。	A+	ユースボランティアは、登録者はいるものの、実際の活動につながらっていない現状がある。登録者間の顔をつないでいく必要がある。 保育ボランティアは、活動が減少しているので、既存ボランティアのモチベーション向上のため、取り組みの周知方法について検討する必要がある。 アドバイザーバンクは利用の申し込みを電子化したしたが、申し込みは少ない状況のままである。広く知ってもらえるよう周知方法を見直す必要がある。	1	ユースボランティアについては、ボランティア同士の交流機会を創出する等により、実際の活動に結び付けていくこと。 保育ボランティアについては、活動内容の積極的な発信等により、既存ボランティアのモチベーションを向上させることで、活動の増加に努めること。 アドバイザーバンクについては、制度そのものをより多くの方に知ってもらえるよう情報発信に努めること。	
ボランティア養成講座の開催回数(回)	実績値	64																		
	目標値	3	3	3	3	3	3	3	3											
	実績値	3																		
基本理念2 地域コミュニティの活動と連携を促進します																				
(4)地域コミュニティの拠点づくり																				
①市民の交流の場の確保																				
32	市民交流スペースの設置・活用	管財契約課 ・市民協働推進課	市民や市民活動団体等が互いに交流できるよう、庁舎を気軽に利用でき、交流を図ることができるスペースを設置し、その活用を促進します。	庁舎整備工事の進捗率(%)	目標値	100	-	-	-	-	-	-	-	A		A	2		庁舎整備工事が完了したことから、今後、市民交流スペースの活用を促進するような新たな指標を設定すること。	
実績値	100																			
33	子育て交流拠点の提供	保育幼稚園課	「そでがうらこども館」において、子育て中の親子等が気軽に集えるよう、自由に交流できる場所を提供するとともに、子育てについての相談、情報提供、助言等の支援を行う地域子育て支援拠点事業を実施します。また、多目的室等を活用し、子育て関連団体などと連携した講座・イベントを開催します。	講座、イベントの開催回数(回)	目標値	90	90	90	90	90	90	90	90	A		A	1			
実績値	120																			
34	袖ヶ浦いきいき百歳体操の取組拡大	高齢者支援課	筋力の維持向上といった身体面での効果だけではなく、他者との交流の場の確保による社会性の維持・向上、更には地域づくりにつなげるため、地域において介護予防の取組を継続して実施できるように支援します。	袖ヶ浦いきいき百歳体操参加者(人)	目標値	1,375	1,460	1,460	1,460	1,460	1,460	1,460	1,460	A	参加人数は目標値に達しなかったものの、新規団体の立ち上げや、長浦地区で交流会を実施し、各団体のモチベーション維持に向けた取組を実施した。	A+	新規団体の立ち上げに際し、会場の確保に苦慮している。また、コロナ禍の影響で参加者が減少し、オープンクラスの開催など、参加者増加に向けた取組を行っているが、現状では成果に結びついていない状況である。	1	交流センターや自治会館以外にも会場となりうる場所が確保できないか検討すること。 長浦地区だけでなく、他の地区での交流会の実施を検討するなど、各団体のモチベーション維持に努めること。	
実績値	1,344																			

No.	取組名称	担当課等	取組概要	各年度の活動指標										担当部署評価(一次評価)				協働のまちづくり推進本部評価(二次評価)																	
														実績評価		加点評価	総合評価	課題や改善点	今後の方向性	付帯意見															
				指標名	区分	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	R13	A: 目標値を完全又は概ね達成(80%以上) B: 目標値を一部達成(80%未満) C: 未実施(0%)	活動指標にあるもの以外で、取組概要にある目的の達成に繋がる取組を行った場合は、その内容を記入してください。	加点評価がある場合は、実績評価に「+」を付けてください。 加点評価がない場合は、実績評価をそのまま転記してください。	取組に対する課題や改善点がある場合は記入してください。	1: 取組概要に沿って取組を進めることが妥当 2: 取組概要の見直しや、活動指標の見直しが必要 3: 取組の廃止や休止を含む検討が必要 4: 取組の終了	今後、担当部署において改善や検討をしてもらいたい点等。																
②地域コミュニティの活動拠点の確保																																			
35	【新規】 交流センターの管理・運営	交流センター・市民協働推進課	地域のまちづくりの拠点として機能させ、市民や地縁団体等において更なる利用が図られるよう、利用者の意見を伺い、必要な機能を充実させるよう努めるとともに、施設の管理・運営を適切に行います。	定期的な施設点検(各館月ごと)(回)	目標値		1		1		1		1		1		A			A	1	施設としての定期点検は必要不可欠ではあるが、地域のまちづくり拠点として機能させるためには、市民や地縁団体からの意見を聴取するとともに、必要な機能を備えることが重要であることから、指標の見直しについて検討すること。													
				集会施設等の建設、修繕に対する補助金の交付件数(件)	目標値		10		11		11		11		12		12		12		13		老朽化した施設が多く、破損箇所の拡大による修繕費の高額化を避けるため、計画的な修繕を促す必要がある。 また、災害等による施設の修繕費用が高額になる場合に備え、施設の保険加入を推進する必要がある。	施設が破損することで、一定期間、集会施設としての機能が停止し、災害時の避難場所としての役割にも影響が出ることから、計画的な修繕を促すこと。											
					実績値																				8										
36	区等集会施設の建設等への補助	市民協働推進課	区等集会施設の計画的な整備や改修、修繕等の実施を支援するため、必要な経費に対して補助金を交付します。	集会施設等の建設、修繕に対する補助金の交付件数(件)	目標値		10		11		11		11		12		12		12		13		1	施設が破損することで、一定期間、集会施設としての機能が停止し、災害時の避難場所としての役割にも影響が出ることから、計画的な修繕を促すこと。											
					実績値																														
③地域コミュニティの交流機会の確保																																			
37	市民活動交流会の開催	市民協働推進課、交流センター	市民活動団体等がお互いの活動内容や情報などを交換し、また、地域活動に興味のある市民等が各団体と交流する場を設けることで、連携してまちづくりに取り組むきっかけづくりを行います。	交流会開催回数(回)	目標値		1		1		1		1		1		1		1		1		A		A	1									
					実績値																									2					
38	【新規】 交流センターにおける地域活動の支援	交流センター	交流センターを活動拠点とする地縁団体や市民活動団体等が活動を推進できるよう、各地区の交流センターにおいて、活動状況やニーズを把握するとともに、情報の提供や協力等を行い、地域コミュニティの活性化を図ります。	地区自治連合会議への参加(各館)(回)	目標値		1		1		1		1		1		1		1		1		A		A	1	公民館から交流センターに移行したことから、地域交流の場として、より積極的に活用されるよう努めること。								
					実績値																									3					
(5)地域コミュニティ活動への支援																																			
①地域コミュニティ活動への補助等																																			
39	地域活性化推進事業への補助	市民協働推進課	地区自治連絡会を主体として、より広域的な地域課題への取組や地域住民の交流・地域活性化イベントなどの実施を促進するため、地域活性化推進事業補助金を交付します。	補助金活用地区数(地区)	目標値		3		2		2		2		1		1		0		0		A		A	1									
					実績値																									4					
40	地域支え合い活動支援事業への補助	高齢者支援課・企画政策課	高齢者をはじめとする交通弱者の移動手段を確保し、社会参加活動の推進を図るため、地域住民が主体となって実施している地域支え合い活動支援事業を支援します。また、外出支援数の増加を図るため、取組を行っている団体と連携して事業の周知を行います。	周知回数(回)	目標値		1		1		1		1		1		1		1		1		A		A	4	補助の対象である活動団体から、令和6年度をもって活動を終了する旨の報告があったことから、本事業は令和6年度をもって終了となっている。	地域には外出支援をはじめとする日常生活支援を行う団体があることから、高齢者等が引き続き移動手段に困ることがないよう、これらの団体の紹介や、チョイソコがうら等の代替交通手段の提案など、きめ細やかな対応に努めること。							
					実績値																									1					
				活動団体数(団体)	目標値		1		1		1		1		1		1		1		1								1						
					実績値																														

No.	取組名称	担当課等	取組概要	各年度の活動指標										担当部署評価(一次評価)				協働のまちづくり推進本部評価(二次評価)	
														実績評価		加点評価		総合評価	
				指標名	区分	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	R13	A:目標値を完全又は概ね達成(80%以上) B:目標値を一部達成(80%未満) C:未実施(0%)	活動指標にあるもの以外で、取組概要にある目的の達成に繋がる取組を行った場合は、その内容を記入してください。	加点評価がある場合は、実績評価に「+」を付けてください。 加点評価がない場合は、実績評価をそのまま転記してください。	取組に対する課題や改善点がある場合は記入してください。	1:取組概要に沿って取組を進めることが妥当 2:取組概要の見直しや、活動指標の見直しが必要 3:取組の廃止や休止を含む検討が必要 4:取組の終了	今後、担当部署において改善や検討をしてもらいたい点等。
41	介護予防活動団体への補助	高齢者支援課	袖ヶ浦いきいき百歳体操等を行う住民主体の介護予防活動団体に対して、円滑な活動とその継続を支援するため、必要な経費に対して支援を行います。	団体数(団体)	目標値	30	30	30	30	30	30	30	30	A		A		1	
					実績値	31													
42	ボランティアセンター(社会福祉協議会)への補助	地域福祉課	袖ヶ浦市社会福祉協議会にあるボランティアセンターを支援することで、ボランティアセンター機能の充実を図るため、ボランティアの育成と支援を通して活動の活性化を図ります。	ボランティア登録数(社協実施)(人)	目標値	1,400	1,400	1,400	1,400	1,400	1,400	1,400	1,400	A		A	市内施設等においてボランティア活動が再開され、ボランティア登録人数は目標に達しなかったものの、前年度比27人増の1,364人となった。今後も各種入門講座など、登録人数の増加につながる取り組みを継続して実施していく。	1	前年度と比較して増加に至った要因等を分析のうえ、引き続き登録人数の増加に繋がる取組を実施していくこと。
					実績値	1,364													
43	【新規登載】子ども食堂への補助	地域福祉課	子ども、保護者、地域住民の居場所づくりのため、地域の子ども及びその保護者等が食事を取りながら相互に交流を行い、地域で見守る拠点として食堂を運営する市民活動団体等に対し、補助金を交付します。	補助金を交付する市民活動団体等の件数(件)	目標値	3	3	3	4	4	4	5	5	A		A	補助金交付団体は、前年度比3件増の5件となり目標値を上回った。一方、開設場所が昭和・長浦地区に集中するなど、開設場所に片寄りが見受けられる。	1	未開設地域における子どもや家庭の実情・ニーズを把握したうえで、子ども食堂の立ち上げが促進されるよう努めること。
					実績値	5													
44	サロン実施(社会福祉協議会)への補助	地域福祉課	袖ヶ浦市社会福祉協議会によるサロン実施を支援し、世代間交流・地域内交流の場、高齢者・子育て中の親子等が孤立しないように集える場、また、地域の特徴に応じた交流の場づくりを行うことで、住民・ボランティア等のつながりや地域に合わせた活動の実施を促進します。	子育て・高齢者等のサロンの開設数(社協実施)(箇所)	目標値	28	29	29	30	30	31	31	32	A		A	サロン開設数の目標は達成しなかったものの、各地区において持ち回りサロンの再開がみられ、開設数は26箇所前で前年度比4箇所増、サロン参加者数は4,054人で前年度比123人増となった。	1	前年度と比較して増加に至った要因等を分析のうえ、引き続きサロンの開設数・参加者数の増加に向けた取組に努めること。
					実績値	26													
45	各種助成制度の情報提供	市民協働推進課	市が設ける補助金制度のほか、地域コミュニティが民間の助成制度等を有効に活用し、活動資金を確保できるようにするため、各種助成制度等の情報を収集して、市ホームページや窓口等において情報提供を行います。	各種助成制度の情報提供回数(回)	目標値	3	3	3	3	3	3	3	3	A		A		1	
					実績値	3													
②地域コミュニティ活動への協力等																			
46	自治会運営への支援	市民協働推進課	地域住民の交流や住みやすい地域づくりを担う自治会の活動を活性化するため、活動事例等を市ホームページや広報紙に掲載するなど、自治会への理解と加入促進を図ります。また、自治会役員等の負担軽減を図るとともに、効率的な自治会運営が行われるよう事例等を参考に検討します。	自治会加入世帯数(世帯)	目標値	15,090	15,120	15,150	15,180	15,210	15,240	15,270	15,300	A		A	自治会への未加入世帯が増加するとともに役員の高齢化により次の役員の担い手が見つからないなど、自治会の存続自体が危ぶまれている。そのため、審議会等における充て職の見直しや自治会DXの推進により、役員の負担軽減を図るような取組を行う必要がある。 また、新興住宅地等の自治会未結成地域に対して、自治会の必要性や災害時等における共助の重要性など、様々な視点からのメリット等の周知を継続することで、自治会結成に向けた意識の醸成を図っていく。	1	自治会を取り巻く現状の課題を認識したうえで、役員の負担軽減策を講じること。また、新興住宅地への自治会設立を支援し、未加入世帯の加入促進に努めること。
					実績値	14,796													
				自治会等の周知活動(回)	目標値	4	4	4	4	4	4	4	4						
					実績値	4													
47	地区住民会議への支援	交流センター・公民館	地域の教育力の向上を目指し、学校・家庭・地域の連携を深め、未来を担う青少年の健全育成に努める地区住民会議の活動を充実させるため、ともに活動し支援を行います。また、地域のまちづくりへの取組につなげるため、構成団体との連携・協力を深め人材確保を図ります。	地区住民会議への協力者数(人)	目標値	2,100	2,100	2,100	2,100	2,100	2,100	2,100	2,100	A		A	地区住民会議の構成団体自体の状況によるところだが、PTA等の団体においては流動性があるが、その他の各団体の代表である理事においては長年同じメンバーで、高齢化が進む傾向がある。	1	構成メンバーや活動の見直しを行うとともに、若い世代を取り入れるなど担い手の確保に努めること。
					実績値	1,814													

No.	取組名称	担当課等	取組概要	各年度の活動指標										担当部署評価(一次評価)				協働のまちづくり推進本部評価(二次評価)	
														実績評価		加点評価	総合評価	課題や改善点	今後の方向性
				指標名	区分	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	R13	A: 目標値を完全又は概ね達成(80%以上) B: 目標値を一部達成(80%未満) C: 未実施(0%)	活動指標にあるもの以外で、取組概要にある目的の達成に繋がる取組を行った場合は、その内容を記入してください。	加点評価がある場合は、実績評価に「+」を付けてください。 加点評価がない場合は、実績評価をそのまま転記してください。	取組に対する課題や改善点がある場合は記入してください。	1: 取組概要に沿って取組を進めることが妥当 2: 取組概要の見直しや、活動指標の見直しが必要 3: 取組の廃止や休止を含む検討が必要 4: 取組の終了	今後、担当部署において改善や検討をしてもらいたい点等。
48	生活支援体制整備事業	高齢者支援課	住民等の多様な主体が参画し、生活支援に対する多様なサービスを実施することにより、地域における支え合いの体制づくりを推進するため、要支援者等に対する効果的かつ効率的な支援を実施します。	生活支援コーディネーターの相談・地域資源情報収集等の対応件数(件)	目標値	180	180	180	180	180	180	180	180	A		A		1	
				実績値	272														
				生活支援コーディネーターの他事業への参加回数(回)	目標値	15	15	15	15	15	15	15	15	A		A		1	
				実績値	15														
49	自主防犯組織の結成と活動支援	防災安全課	「自分たちのまちは自分たちで守る」という自覚と連帯感に基づき、地域の防犯力を向上するため、自主防犯組織の結成を促進するとともに、防犯装備品の貸与を行うなどの支援を行います。	自主防犯組織数(組織)	目標値	45	46	47	48	49	50	51	52	A		A	高齢化や役員の担い手不足により、組織の継続が困難なところがある。	1	新たな会員や役員の担い手の発掘などの支援を通じ、既存の自主防災組織の維持に努めること。
				実績値	44														
50	自主防災組織の結成と活動支援	防災安全課	「自分たちのまちは自分たちで守る」という自覚と連帯感に基づき、地域の防災力を向上するため、自主防災組織の結成を促進するとともに、防災資機材の貸与や防災訓練の指導などにより充実・拡充を図ります。	自主防災組織数(組織)	目標値	81	82	83	84	85	86	87	88	A		A	地域の顔が見える関係性の希薄化により、新たな団体が立ち上がりにくい現状がある。 また、団体が立ち上がることに より役割が増えるため、これに負担を感じることも要因の一つと考えられる。	1	防災については、市民も関心が高いため、必要性について啓発し、新たな組織の結成に努めること。
				実績値	80														
③相談機能等の充実																			
51	(仮称)市民活動サポートセンターの設置・運営	市民協働推進課	地域コミュニティと市による協働のまちづくりを推進するため、新たに設置する(仮称)市民活動サポートセンターにおいて、市民や地域コミュニティに対しアドバイスやコーディネートを行い、その活動を支援します。	コーディネーターの設置人数(人)	目標値	1	1	1	1	1	1	1	1	A		A	今後、団体の様々な悩みに対応することができるようアドバイザーを増やしていく必要がある。	1	団体のニーズを把握したうえで、団体が抱える課題に対応できるスキルを持つ人材の確保に努めること。
				実績値	2														
(6)地域まちづくり協議会の設立と支援																			
①地域まちづくり協議会の設立支援																			
52	地域まちづくり協議会の設立支援	市民協働推進課・交流センター	地域まちづくり協議会の設立を支援するため、未組織の地区において地区座談会を開催するなどきっかけづくりをするとともに、活動事例を紹介するなど協議会への理解を促進します。また、協議会が設立されるまでに必要な事務手続等に対する支援を行います。	地域まちづくり協議会設置組織数(延べ組織数)	目標値	2	3	3	3	4	4	5	5	B	中富地区においてまちづくり協議会の設立に向けた準備会が毎月開催され、平川交流センターとともに参加し、設立に向けたアドバイスの支援を行った。 その結果、R7年度中の設立の可能性が出てきたことから、設立支援の効果があったと思われる。	B+	その他3地区においても、設立に向けた動きが出るよう、長浦地区や中富地区の事例などを周知することで、意識の醸成を図っていく必要がある。	1	中富地区については、引き続き市民協働推進課と平川交流センターが連携し、設立に向けた支援をしていくこと。また、まちづくり協議会が設立されていない地区に対しても、適宜働きかけをしていくこと。
				実績値	1														
②地域まちづくり協議会の運営支援																			
53	地域まちづくり協議会の運営支援	市民協働推進課・交流センター	地域まちづくり協議会の円滑な運営と市との連携体制を確保するため、各協議会との連絡調整や運営補助などを担当する市職員等を配置します。また、協議会の運営や事業の実施に対して、補助金を交付します。	地域まちづくり協議会の運営支援組織数(延べ組織数)	目標値	2	3	3	3	4	4	5	5	B	長浦地区まちづくり協議会の事務局を市民協働推進課から長浦交流センターに移行することで、より地域の実情を把握し、密接な運営支援を行える体制を構築した。	B+	まちづくり協議会の設立までは市民協働推進課が主となり支援するが、運営からは交流センターが主となることから、円滑な移行ができるよう設立の段階から交流センターにも密接に関与してもらう必要がある。	1	長浦地区まちづくり協議会の運営については、引き続き市民協働推進課と長浦交流センターが連携し、支援をしていくこと。また、まちづくり協議会が設立されていない地区についても、今後設立された際に円滑な運営支援ができるよう、市民協働推進課と各交流センターが連携し、取り組んでいくこと。
				実績値	1														

No.	取組名称	担当課等	取組概要	各年度の活動指標										担当部署評価(一次評価)				協働のまちづくり推進本部評価(二次評価)	
														実績評価		加点評価	総合評価	課題や改善点	今後の方向性
				A:目標値を完全又は概ね達成(80%以上) B:目標値を一部達成(80%未満) C:未実施(0%)		活動指標にあるもの以外で、取組概要にある目的の達成に繋がる取組を行った場合は、その内容を記入してください。	加点評価がある場合は、実績評価に「+」を付けてください。 加点評価がない場合は、実績評価をそのまま転記してください。	取組に対する課題や改善点がある場合は記入してください。	1:取組概要に沿って取組を進めることが妥当 2:取組概要の見直しや、活動指標の見直しが必要 3:取組の廃止や休止を含む検討が必要 4:取組の終了	今後、担当部署において改善や検討をしてもらいたい点等。									
指標名	区分	R6	R7	R8	R9						R10	R11	R12	R13					
基本理念3 地域コミュニティと市の協働を推進します																			
(7)協働による事業の推進																			
①市政に関する情報提供【再掲】																			
1	広報紙・ホームページの充実【再掲】	秘書広報課	市からの情報発信をより効果的に行うため、広報紙やホームページ・SNS等の更なる充実に向けて、継続的に取組を実施します。	発信媒体の庁内周知(回)	目標値	2	2	2	2	2	2	2	2	A		A		1	
					実績値	2													
2	市長と一緒にティータイムの開催【再掲】	秘書広報課	市政やまちづくりに関して、市民の意見を広く聴き市政に反映させるため、各種団体や市民グループと市長が意見交換を行い、市民参加のまちづくりを推進します。	制度の周知回数(回)	目標値	10	10	10	10	10	10	10	10	A	市内全中学校にて、生徒と給食をともにしながら若い世代の声を聴いた。	A+		1	SNS等を活用した多様な方法による周知に努めること。
					実績値	8													
				開催回数(回)	目標値	7	7	7	7	7	7	7	7						
					実績値	7													
3	シティプロモーション特設サイト「そでがうらアンバサダー」の運営【再掲】	秘書広報課	シティプロモーション特設サイトにて、「暮らし」「はたらく」「子育て・教育」の分野において、市内で活躍する「そでがうらアンバサダー」が袖ヶ浦の魅力を語るインタビュー記事を掲載し、定住促進や交流人口の増加を図ります。また、市民が直接情報発信に関わることでわがまちへの愛情や誇り(シビックプライド)の醸成につなげます。	そでがうらアンバサダーの周知(回)	目標値	2	2	2	2	2	2	2	2	A		A		1	
					実績値	2													
4	事業者との協働による市政情報等の提供【再掲】	秘書広報課	市と事業者の協働により、民間資金等を活用して市政情報や地域情報に関するガイドブック・マップ等を発行することで、市民生活に役立つ情報などを提供します。	年度により発行数に変動があるため、指標は設定しない	目標値	-	-	-	-	-	-	-	-	A		A		1	
					実績値	6													
②地域コミュニティ活動の情報収集と提供【再掲】																			
5	協働のまちづくりの事例収集と提供【再掲】	市民協働推進課	市民の地域コミュニティへの参加や、地域コミュニティが連携するきっかけづくりとするため、市内における地域コミュニティの活動事例を収集し、市ホームページへの掲載など事例を紹介する機会を設けます。	活動事例の情報提供(回)	目標値	2	2	2	2	2	2	2	2	A		A		1	
					実績値	2													
③協働事業提案制度の活用																			
54	協働事業提案制度の活用	市民協働推進課	複雑化・多様化している地域課題や市民ニーズに対応するため、市民活動団体等から事業を募る協働事業提案制度について、制度の周知を図ります。また、より活用しやすい制度とするよう、取組の拡充を検討します。	協働事業提案制度実施件数(延べ件数)(件)	目標値	26	27	28	29	30	31	32	33	A		A	市民活動団体のみではなく、幅広く活用できるよう対象を拡大するなど件数の増加を図っていきたい。	1	より使いやすい制度にするためにさらなる検討に努めること。
					実績値	26													

No.	取組名称	担当課等	取組概要	各年度の活動指標										担当部署評価(一次評価)				協働のまちづくり推進本部評価(二次評価)	
														実績評価		加点評価	総合評価	課題や改善点	今後の方向性
				指標名	区分	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	R13	A:目標値を完全又は概ね達成(80%以上) B:目標値を一部達成(80%未満) C:未実施(0%)	活動指標にあるもの以外で、取組概要にある目的の達成に繋がる取組を行った場合は、その内容を記入してください。	加点評価がある場合は、実績評価に「+」を付けてください。 加点評価がない場合は、実績評価をそのまま転記してください。	取組に対する課題や改善点がある場合は記入してください。	1:取組概要に沿って取組を進めることが妥当 2:取組概要の見直しや、活動指標の見直しが必要 3:取組の廃止や休止を含む検討が必要 4:取組の終了	今後、担当部署において改善や検討をしてもらいたい点等。
④協働による事業の実施																			
55	ガウラフオトクラブでの市の魅力発信	秘書広報課	「市民の目で見えて感じた袖ヶ浦の魅力」を写真に収め、市ホームページやSNSを活用して、市内外に向けて発信することで、定住促進や交流人口の増加を図ります。また、市民が直接情報発信に関わることでわがまちへの愛情や誇り(シビックプライド)の醸成につなげます。	ホームページでの写真発信(回)	目標値	12	12	12	12	12	12	12	12	A		A		1	
					実績値	12													
				SNSでの写真発信(回)	目標値	120	120	120	120	120	120	120	120						
					実績値	137													
56	高齢者見守りネットワーク事業	高齢者支援課	高齢者が住み慣れた地域で安心して暮らせるよう、協定等を締結した協力事業者、関係機関・団体等が日常の生活や業務などにおいて、地域の高齢者に対する「さりげない見守り」を実施します。	協定等を締結した協力事業者・関係団体数(団体)	目標値	71	72	72	72	72	72	72	72	A		A		1	
					実績値	71													
57	一人暮らし高齢者宅防火診断	消防本部予防課	防火思想の普及と被害の軽減を図るため、関係機関と協力し、一人暮らしの高齢者に対し防火診断を実施します。	一人暮らし高齢者宅訪問回数(回)	目標値	2	2	2	2	2	2	2	2	A		A		1	
					実績値	2													
58	在宅医療・介護連携推進事業	高齢者支援課	医療と介護の両方が必要な高齢者が、住み慣れた地域で自分らしい暮らしを最期まで続けることができるよう、顔の見える関係の構築等、関係者間の連携の強化に向けた土台づくりや、在宅医療と介護の一体的な提供体制の整備を推進します。	研修会の開催(多職種協働及び市民向け)(回)	目標値	4	4	4	4	4	4	4	4	A		A		1	
					実績値	5													
59	在住外国人の生活支援等の推進	市民協働推進課	外国人が安心して暮らせるよう関係団体等と連携を図りながら、コミュニティ支援(学校・地域コミュニティ等)や生活支援(言語・相談・医療・防災等)に取り組むとともに、多文化共生に対する理解の促進と参加の仕組みづくりを推進します。	日本語教室の開催支援回数(回)	目標値	44	44	44	44	44	44	44	44	A		A	開催する曜日を決めているため、祝日に重なった場合やイベント等の他の事業と重なった場合に予定通り開催できないことがある。	1	利用者のニーズを把握し、開催に努めること。
					実績値	43													
60	まちの美化推進	環境管理課	地域の環境美化を図るため、市内一斉清掃、臨海地区清掃、ポイ捨て防止啓発活動など、市民や事業者が参加する清掃や啓発活動を実施します。	清掃活動実施回数(回)	目標値	6	6	6	6	6	6	6	6	B		B	ポイ捨て防止啓発活動の実施にあたっては、企業や袖ヶ浦高校にも協力を依頼しているため、予備日においても雨天等により中止となった場合は、日程の再調整が困難である。	1	ポイ捨て防止啓発活動は2回を目標としていたが、そのうち1回の実施日及び予備日ともに天候不良により中止となったことだが、さらなる代替日を設けることは難しいと思われるが、引き続き目標値を達成できるよう努めること。また、啓発活動を行う団体等の確保に努めること。
					実績値	7													
				ポイ捨て防止啓発活動実施回数(回)	目標値	2	2	2	2	2	2	2	2						
					実績値	1													

No.	取組名称	担当課等	取組概要	各年度の活動指標										担当部署評価(一次評価)				協働のまちづくり推進本部評価(二次評価)	
														実績評価	加点評価	総合評価	課題や改善点	今後の方向性	付帯意見
				指標名	区分	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	R13	A:目標値を完全又は概ね達成(80%以上) B:目標値を一部達成(80%未満) C:未実施(0%)	活動指標にあるもの以外で、取組概要にある目的の達成に繋がる取組を行った場合は、その内容を記入してください。	加点評価がある場合は、実績評価に「+」を付けてください。 加点評価がない場合は、実績評価をそのまま転記してください。	取組に対する課題や改善点がある場合は記入してください。	1:取組概要に沿って取組を進めることが妥当 2:取組概要の見直しや、活動指標の見直しが必要 3:取組の廃止や休止を含む検討が必要 4:取組の終了	今後、担当部署において改善や検討をしてみたい点等。
61	資源回収活動	廃棄物対策課	市民のごみ処理に対する認識を高めるとともに、ごみの減量化と資源化を促進し、循環型社会を構築するため、資源の回収活動を実施した自治会や団体等に対して助成金を交付します。また、活動団体を増やすため、広報等でPRを実施します。	自治会回収数(自治会)	目標値	117	117	118	118	119	119	120	120	A	・市政協力員会議やホームページにて資源回収活動に関する事業概要等について情報発信を行い、自治会やその他の団体に対して、資源回収活動推進助成金制度について周知を行った。 ・資源回収活動の減少を抑制するため、令和4年度までの実施団体に対して活動の啓発を実施した。 ・不参加の自治会に対して活動啓発の回覧を1回実施した。	A+	・自治会回収の参加数が目標値に達していない理由として、自治会加入率の低下が主な原因と考えられる。会員数が減ることで、自治会回収のコンテナ展開や内容物の管理等の活動を維持するのが難しく、新設自治会であっても会員数が少ないことで、自治会回収への参加が難しい。 ・団体回収の参加数は新型コロナウイルス感染症の蔓延により、大幅に減少した。感染症は落ち着いたものの、自治会回収と同様に人手不足等により活動再開が難しい団体が多数ある。 ・今後は不参加自治会や団体への周知を継続しながら、参加数の維持を目指していく。	1	回収活動の重要性や、参加することのメリットを市民に広く周知することにより、自治会回収数、団体回収数の増加に努めること。
					実績値	115													
62	景観まちづくり推進団体の認定	都市計画課(旧都市整備課)	多面的な景観まちづくりを推進するため、一定の要件を満たす市民団体を景観まちづくり推進団体として認定し、情報の提供、技術的な支援や助言などを行うとともに、活動内容を広く周知することで、団体同士の交流や連携を促進します。	景観まちづくり推進団体に認定されている団体数(団体)	目標値	8	7	7	7	6	6	6	6	A		A		1	
					実績値	9													
63	違反広告物除却活動の推進団体制度の運用	都市計画課(旧都市整備課)	まちの良好な景観の形成と風致の維持を図るため、美観や通行の安全を阻害している道路上のはり紙、はり札、立看板等の違反広告物について、自発的に除却活動を行う団体を市が認定し、用具の貸与等の支援を行います。	違反広告物除却活動推進団体に認定されている団体数(団体)	目標値	5	4	4	4	4	3	3	3	A		A		1	
					実績値	5													
64	道路アダプトプログラムの運用	土木管理課	道路愛護と協働のまちづくりを推進するため、道路の清掃や除草などを行う市民団体等に対し、草刈り機の燃料等を支給し、市民参加による道路の美化活動を支援します。	参加団体への支援(物資の配布)(回)	目標値	2	2	2	2	2	2	2	2	A		A		1	
					実績値	5													
				制度の周知・PR(市政協力員会議、広報、HP、情報サイト)(回)	目標値	5	5	5	5	5	5	5	5						
					実績値	6													
65	公園の美化活動の推進	都市整備課	身近な公共空間である公園と緑地の美化を推進し、市民意識の向上を図るとともに清潔で安全な公共空間を創出するため、市民と市、指定管理者が一体となって、公園の美化活動や緑化活動を推進します。	公園等の美化活動参加団体数(団体)	目標値	40	40	41	41	41	42	42	42	A		A		1	
					実績値	40													
66	多面的機能支払交付金事業	農林振興課	農業・農村の有する多面的機能の維持・発揮を図るため、地域で行う水路の草刈りや泥上げ、農道の維持補修、花の植栽による景観形成等に支援を行い、自然環境の保全及び良好な景観の形成等の地域資源の適切な保全管理を推進します。	活動面積(ha)	目標値	1,077	1,077	1,077	1,077	1,077	1,077	1,077	1,077	A		A		1	
					実績値	1,210													

No.	取組名称	担当課等	取組概要	各年度の活動指標										担当部署評価(一次評価)				協働のまちづくり推進本部評価(二次評価)	
														実績評価	加点点評価	総合評価	課題や改善点	今後の方向性	付帯意見
				指標名	区分	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	R13	A:目標値を完全又は概ね達成(80%以上) B:目標値を一部達成(80%未満) C:未実施(0%)	活動指標にあるもの以外で、取組概要にある目的の達成に繋がる取組を行った場合は、その内容を記入してください。	加点点評価がある場合は、実績評価に「+」を付けてください。 加点点評価がない場合は、実績評価をそのまま転記してください。	取組に対する課題や改善点がある場合は記入してください。	1:取組概要に沿って取組を進めることが妥当 2:取組概要の見直しや、活動指標の見直しが必要 3:取組の廃止や休止を含む検討が必要 4:取組の終了	今後、担当部署において改善や検討をしてみたい点等。
67	田園空間施設維持管理事業への補助	農林振興課	市民に親しまれる景観の優れた道路となるよう、広域農道(フラワーライン)において地元区等が歩道路肩部への草花の植栽を行うなど、田園空間施設の維持管理活動を支援します。また、広域農道沿いの二級河川浮戸川(県管理)堤防の除草についても、地元区により実施します。	植栽実施地区(延べ地区数)(地区)	目標値	7	7	7	7	7	7	7	7	A		A		1	
					実績値	7													
68	水と緑のさと「しいのもり」維持管理	環境管理課	市民が身近な自然と触れ合える憩いの場を創出するため、水と緑のさと「しいのもり」の維持管理を、市民等のボランティアと協働して行います。	ボランティアによる、年間の草刈り等の維持管理の回数(回)	目標値	18	18	18	18	18	18	18	18	A		A	雨天の場合や、夏場に熱中症警戒アラートが発令された場合は、作業を中止せざるを得ない。	1	効率的な維持管理を検討し、無理のない範囲で維持できるよう、作業を行うこと。
					実績値	17													